

建学の精神・教育理念・教育目的・教育方針・教育目標・3つのポリシー

建学の精神

1. 「自由の精神の徹底」

学と芸の専門学校として秩序ある体系の上に自由の精神に基づき、私学としてのみ可能である学科編成を目指して高等教育にエポックを劃したい。

2. 「創造性の奨励」

本校は芸術における狭義の創造性にとどまらず、科学技術・産業・交通・通信・政治・行政その他社会活動全般にわたり創造性を奨励したい。

3. 「総合のための分化と境界領域の開拓」

近代における学と芸は、専門化の一途をたどりその専攻分野は極端なるセクショナリズムに陥るという弊害がしばしば見受けられるが、本校はこれを絶対に排し総合のための分化及び専門化であることを絶えず確認し、特に境界領域における学と芸の盲点的存在となっている部分を注視し、新分野の開拓につとめたい。

4. 「国際的視野にたったの展開」

東洋の日本、世界の日本という認識のもとに我国特有の学と芸に関する優れた伝統を国際的視野に立ってこれを深く掘り下げ、伝統の形式に囚われることなく、伝統の持つ精神を高揚して新しい芸術の伝統を展開したい。

5. 「実用的合理性の重視」

本校は阪神産業地帯をヒンターランドとして開設されている立地条件にかんがみ、学と芸の実用的合理性を尊重してこれを実現したい。

教育理念

1. 芸術における自由な精神の尊重を踏まえ、広い視野に立った豊かな創造性を育てる。
2. 専攻分野での極端なセクショナリズムを排し、総合的な学問と芸術の両立を確立させる。
3. 国際的な視野に立って展開し、伝統形式にとらわれず、伝統の持つ精神を高揚しつつ、深く掘り下げ、新しい芸術を生み出す。そしてこれらを踏まえ、高度な職業能力を身につけた人材を養成し、社会に貢献することを目指す。

教育目的

本校は芸術専攻分野に関し、高度な職業能力を身につけた人材を育成することを教育目的とする。

教育方針

1. 技術と知識における基礎力を充実させ、応用能力向上に徹底した指導体制をとる。
2. 人間性及び自主性を育て、社会生活を営む上で重要なコミュニケーション能力を高める。
3. 専門教育科目では6ヶ月で基礎を学び、クリエイティブとは何かを身につける。

さらに専門基礎を6ヶ月、各コースで1年間または2年間、自分のめざす分野での技術の向上に磨きをかける。

教育目標

総合デザイン学科

現代社会における新しい資源といわれるデザインの概念や対象の多様化に対応できる基礎的、かつ専門的な知識・技術に加え、デザインの現場に必要な実践能力を修得することにより、各分野でデザインのプロフェッショナルとして活躍できる人材の養成を目標とする。

コミック・アート学科

マンガ、コミックイラスト、アニメ、フィギュア、美術・工芸各コースの基礎的な知識・技術を修得すると共にマンガ、コミックイラスト、アニメ、フィギュアコースでは各分野に必要とされる表現力・発想力を育み、クリエイターとして自立・活躍することを目指すと共に幅広く社会全体の精神的豊かさにつながる発想力を生かせる人材の育成を目標とする。また、美術・工芸コースでは独創性・創造性に溢れた新しい表現を奨励し、クリエイターや芸術家として活躍できる人材の育成を目標とする。

卒業認定・称号付与方針（ディプロマ・ポリシー）

教育理念を体現し、クリエイターとして、心身ともに健全な社会人として社会に貢献しうる能力を学修していることを求める。

時代の新しい変化に即した機敏な対応ができ、社会が要求する新しい知識や技術を高度に身につけ、かつ卒業要件単位数を修得し、卒業制作の審査に合格した者に専門士（文化・教養専門課程）の称号を付与する。

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

広く知識を求めて学問と芸術の研究に励み、専門的技術の習熟に努め、もって心身ともに健全な職業人を育成することを理念とし「総合教育科目」、「専門教育科目」、「オープン科目」により構成している。

① 本校の科目構成

「総合教育科目」：全ての学科において共通して開講している科目である。コースの必須科目と時間が重ならない限り、自由に選択履修することができる。

「専門教育科目」：専攻する芸術分野について、深い理解と高度な創造力を養成し、社会が求める有為な人材を育成することを目指す。

「オープン科目」：本校の教育理念である創造力や感性を研くために、可能な限り、他コースの科目を開放し、自由に選択履修できる科目である。

② 専門教育の重視

芸術教育機関として、少人数又はグループによる「演習及び実習」を根幹におき、基礎科目をバランスよく配置する。また、必修・選択区分、進級・卒業要件を適切に設定し、専門教育に特化し段階的に実施する。

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

①将来の夢や目標を持っている方

②本校の教育内容や方針を十分理解している方

③好きな仕事を通じて人に喜びや感動を与えたい方

④好きなことを仕事にしたいという気持ちを持っている方

上記のいずれかに該当する方。